新規·継続等		新規	分野	分野 農業		削水利改良		業 号 49 事業名		<u>ال</u> اح	県営かんがい排水 (基幹水利施設ストックマネジメント事業)								
市町村名		長野市	•	ふりがな 箇所名		とょの 豊 野				事業年						年度			
事	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など) H23年度以降残実施内		が管理制御施設(1式 管路付帯施設(弁類) 1式 進									l22年度末 進捗率 エ事費等へ	0 %						
ľ	H23年度実施内容 測量設計 1式											用地補償費べ			-ス - %				
業	年	度	全位	全体事業費		H21年度まで		H22年度			H23年度		H23年度以降残						
概	事業費	事業費計(千円)		500,000				0		0	20,000		500,000						
要	財源内訳	国庫支出金 250,000					0 0		_	10,000		· ·							
		その他県債	125,000							0		_	5,000 4,000		125,00			25,000	
		一般財活	·							0		_	1.000						
	観点		- 1	項目 指標等				-	評 価			·		部		政策評価課			
箇 所 評	単ル 示	受益面積				□ 500ha以上 □ 人家等への災害が 予想		- 2		从上500ha未		□ 200	□ 200ha未満		ランク	評点		<u>評点</u> 3	
	必要性	施設危険度						農地への災害が予 想			□ 災害	□ 災害が予想されない		А	3	А	3		
	(20)	地域用水機能				■ 地域用水機能をです。 する	地域用水機能を有 口 地域用水機能有し ない								10		10		
			小	計												16		16	
			画での位置づ			■ 位置づけあり			位置づ						-	10		10	
		県農政の重要施策への取組み				■ 2つ以上推進 □ 2項目以上配慮		□ 1つ推進		□ 取組			Α	5	1 1	5			
		設計上の環境配慮項目						■ 1項目配慮				□配慮	項目	なし		3		3	
			小 計													18		18	
	効率性	費用対効果(B/C)				■ B/C1.2以上 □ 5年以内 ■ 2項目以上		□ B/C1.1以上1.2未満				上1.1未満	Α	5	Α	5			
		早期発現度(効果発現まで)						■ 6年以上10年未満			☐ 11£	F以上		_ ^	3		3		
	(15)	地域特有の取組み 小 計			-			□ 1項目			□ なし				5 13		5 13		
価		用水不足又は排水不良				■ 受益の50%以上 ■ 応急対策を実施中			受益の3 50%未		Ŀ	口 受益	්ග30 ⁹	 %未満		10	A	10	
	緊急性	応急対策の実施状況						7 /		** 策を過 ₂	去に	□ 応急	対策	を未実施	Α	8		8	
	(25) 維持管理] 50%以上		30%以上50%未満		3 0%	未満			3		3			
		小 計														21		21	
	計画	地域から0	の要望		•	■ 地域住民の内発的 な活動が強い		٠,	がある	からの要		□特に	要望/	۲۱۱ <u>۱</u>	-	6		6	
熟度		事業情報の	の共有			□ 関係者以外に広く 周知		- 5	知	を中心に				してない	В	3	В	3	
	(20)	住民参加の状況 計				□ 住民が計画策定は □ 直接参加				5町村の 5定に反			恵見!	は反映し		4		4	
																13		13	
	費用対効:			1.24			部	•		の合		┼ ┸の╆╒ᅃ <i>╅</i>	- ISSI 7 4	¥ (= 1711	Α	81	A	81	
事業周辺環境	史的経緯・社会的背 景 て整備されたもので、基幹が では施設機械の障害などが				幹施設 が頻	设は、長野市豊野地区(旧豊野町)全域の果樹生産の振興を図るために、昭和55年度から平成8年にか 施設は平成4年度から供用開始されている。以来、豊野町土地改良区により維持管理されているが、近年 が頻発しており、突発的な稼働停止となる危険性が高い状況にある。													
	は は は は は は は は は に は に り に り に り に り に		施設の機能診	平成19年7月に土地改良区から要望があり、保全対策事業の計画について検討を行っていた。事業計画に先立ち、平成20年6月に 施設の機能診断及び保全計画策定を行うソフト事業の実施について要望が出され、平成21年度にソフト事業を実施した。その結 は、ハード事業の実施について、平成22年3月の土地改良区総代会において承認され今回の事業計画に至った。															
	事業説明	等の経緯		成21年2月~平成22年2月まで計5回の土地改良区理事会において事業の説明や地元要望のとりまとめを行っている。平成22年3 26日の土地改良区総代会において本地区の計画について了解を得られている。															
	環境•景観 項目	への配慮		存の畑地かんがい施設の延命化対策(部分更新)であるため、周囲への影響は小さい。 修工事の際は、仮設道路等の範囲を最小限に止める。															
	他事業・プロジェクト 特別との関連		特になし。	寺になし。															
	特記事項特になし。						_												
	地域の合意	意形成	■ 全員賛成			□ 概ね賛成 □			〕過半数賛成			□ 動向	□ 動向不明			□ その他			
	部意見	千曲川から取水している揚水ポンプ等性、緊急性、が高い。既存施設の補償を行う。											าる。						